

# 大阪 供給余力なく市況は変化に乏しい展開

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況は小康状態。来月は複数で炉休が予定しているが、湾岸筋の安定集荷が余剰感を欠かせており、上下動に乏しい展開が続いている。29日時点での地区H2実勢値は3万9500~4万500円(一部上値4万1000円)見当で推移している。

地区内では今月3日の下げ改定以降、電炉側に表立っての値動きがないものの、今月生産の低迷によって、購入意欲はそこまで高くなく、電炉間で品種需要にバラつきが見られる。来月には盆期間中も含めて、電炉筋の大半が夏季炉休入りを計画しており、需要の

停滞感を払拭しにくい展開にある。また、新規輸出商談もアジアミルの引き合い自体が限られていることにより、「需要増もしくは輸出商談が上向かない限り、8月も不透明感に残る展開」(電炉購買担当者)と口にする。

ただ、足元については湾岸筋の上級品種を中心とした集荷対応が電炉入荷に影響を及ぼしており、荷余り感を生じてこない。生産レベルの高い電炉側にとっては品種バランスを考慮しながら、8月前半にかけても一定の入荷を促進していく必要があり、市況は変化材料が見当たりにくいのが実情だ。

## 鋼ドライ粉バラ 需給縮小均衡が続き方向性に乏しい展開

(大阪) 鋼ドライ粉バラ相場は保合い商状。電炉入荷は勢いを欠く半面、生産低迷と在庫高で電炉需要は鋼ドライ粉に限定して上向くような兆しもなさそうだ。

今月3日からの下げ一巡によって、実勢レベルは3万5000~3万8000円へ後退。品薄状況下で同業買いが継続しており、そうした流通事情が荷余り感を欠かせている。一時期に比べて価格差が縮小したが、他地区へ

の流出阻止などにも配慮しなければならない点で、電炉側は様子見姿勢を崩せない展開となっている。

一方、電炉側の生産水準が低く、一部を除いて需要は停滞感を強めている。また、全体的な在庫も安定した水準を維持しているため、置き場能力も踏まえて、鋼ドライ粉バラだけ引き合いを強めてくることも考えにくく、市況は方向性の乏しい展開が続いている。

## ワンライブが三和金属に訪問、在庫管理システムの説明や業界の課題について意見交換

(兵庫) 金属リサイクルやアプリの開発を手掛けるワンライブ(本社=兵庫県尼崎市、土肥容高社長)は7月、金属スクラップディーラーの三和金属(本社=大阪府東大阪市、三重慶三社長)を訪問し、金属スクラップの在庫管理システムの説明や金属リサイクル業界の課題について意見を交換した。

ワンライブはレアメタルやレアアースのリサイクル、汚泥・スラッジの買取事業などを展開している。一方、DXの推進にも取り組んでおり、金属リサイクル業界専門の営業支援アプリ「メタライブ」を開発。業界内で話題となり、金属スクラップディーラーを中心に今

もなおダウンロード数を伸ばしている。また最近では、金属スクラップの在庫管理システム「メタライブストック」を新たに開発。2025NEW環境展や非鉄金属リサイクル全国連合会で同システムを出展し、多くの関心を集めた。



㊦三和社長と㊦土肥社長

三和金属は新断やドライ粉、ステンレスの新切などの加工スクラップを中心に扱っている。こうしたことから、同社が持つ幅広い客層と集客力が高く評価され、大手特殊鋼メーカーとタイアップし、高品質のスクラップの集荷に注力している。また学習塾などを運営するやる気スイッチグループとフランチャイズ契約を結び「個別指導塾スクールIE寝屋川公園駅前校・枚方公園駅前校」、さらには日本ものづくり支援機構の監修を受け、独自に子ども向けの金融教育塾「JMSOあきんど塾」を開校するなど教育事業にも参入している。

当日は土肥社長と三和社長が会社紹介のほか、「メタライブ」や「メタライブストック」、学習塾の開校に至るまでの経緯などについて説明した。また話題は業界の課題へと移り、人材育成・確保やDXの重要性などについて活発に意見を交換し、双方の知見を広げる貴重な機会となった。

**サヤミツ産業** 有限会社

兵庫県姫路市白浜町宇佐崎南2丁目29 TEL (079) 247-2510  
FAX (079) 247-2511

ステンレス・製鋼原料・鋳造原料・アルミ・その他各種スクラップ  
**SAYAMITSU Inc.**